

□かみなか農楽舎の研修スケジュール

研修では、実践的な栽培研修から農業経営学習まで、就農定住に必要な生活指導までを行います。また、若狭についての学習と地域交流を盛り込んでいます。

		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
基本行事		○4月、研修生受け入れ ○末野地区会合に出席開始	○朝市等への出店開始 ○若狭町祭り参加 ○末野祭り参加(9月)	○若狭物産展参加 ○次年度の研修生募集開始 (法人説明会、現地見学会等)	○次年度の作付計画 ○2年次の研修、自主栽培計画 ○次年度の研修生受け入れ(3月)
基本の指導	①朝礼・終礼時	○活動記録の指導 (日報・週間計画/活動表) ○日々の農作業手順の話	○活動記録の継続指導 ○麦後の作付計画(作業手順と分担) ○日作業、週作業の話	○活動記録の高度化指導 ○転作計画、春の野菜作付計画 ○加工品のアイデア	○栽培管理記録の整備 ○次年度の作付け計画、経営計画 ○冬の行事、作業
	②若狭・末野の農業	○気象・雪・霜・土壌/水利/鳥獣害	○日照・風向き ○水田のくせ、畑の注意点	○農地の整備と排水管理	○直販事業、販売事業について ○転作集団化
経営課題		○農業経営の基本 ○活動記録システムの必要性	○稲作の経費構造、経営指標 ○畑作の経費構造、経営指標	○自営農家経営と法人経営 ○農業の市場環境と経営方針	○次年度の法人経営立案 ○年間の活動総括
実践の指導	①機械運転 農具の使い方	○安全と基本動作 ○鎌・クワの使い方	○管理機運転 ○除草・草刈	○コンバイン 収穫作業 ○トラクター 耕起作業	○機械メンテ・点検整備研修 ○大型特殊免許等の習得
	②堆肥・肥料の使い方	○基肥と作目ごとの肥料の使い方	○作目ごとの追肥	○作目ごとの基肥・追肥	○大型ハウス内での軟弱野菜の栽培・出荷 ○大型ハウス内での花卉の栽培・出荷
	③農業の使い方	○なぜ殺虫剤か	○混合剤、除草剤の使い方	○低農薬剤	○有機肥料の製造・販売
(主要作目)	水稻	○土づくり ○育苗 ○田植え ○草刈・除草 ○水管理	○いもち防除 ○害虫防除 ○稲刈り ○草刈 ○水管理	○乾燥、脱穀 ○次年度向けの土づくり	○有機肥料の製造・販売 ○冬期圃場の起耕・追肥・草刈等管理
	大麦	○徳肥(3月) ○赤カビ防除	○赤カビ防除 ○刈り取り・出荷 ○そば、大豆等々播種	○大麦転作田の排水、播種 ○各種収穫 ○収穫後の土づくり	○露地軟弱野菜の栽培・出荷 ○露地花卉の栽培・出荷
	麦後の作付け 体験畑での野菜	○野菜播種、苗定植 ○春野菜収穫	○秋野菜播種 ○夏野菜収穫	○秋野菜収穫 ○冬野菜播種	○液肥等ハウス用肥料の製造・販売
	ハウス栽培	○苗作り ○施設もの定植	○トマト等の収穫	○花、軟弱野菜の播種	○麺・味噌加工品の製造販売
就農の指導	①栽培座学 農楽教室	◎水稻栽培 (講師:県支援部等) ◎野菜栽培 (講師:県支援部等)	◎水稻収穫・販売 (講師:認定農家・物産協会等) ◎野菜栽培 (講師:物産協会等)	◎大麦栽培 (講師:県支援部等) ◎果樹・加工 (講師:県支援部・物産協会等)	◎物産店販売総括 (講師:物産協会等) ◎農業経済と経営 (講師:県支援部等)
	②農業者の座学	◎若狭の農業組織 (講師:町産業課等) ◎若狭の先進農業組織 (講師:認定農家等)	◎若狭の有機農法の取組 (講師:有機農家等) ◎循環型社会 (講師:町産業課等)	◎認定農家・アグリ等交流会 (講師:県支援部等) ◎新規就農者交流会 (講師:町産業課等)	◎農業経営と集落 (講師:県支援部・町産業課等) ◎農村公園での加工開発 (講師:県支援部・物産協会・地元末野等)
	③末野集落行事への参加、加工、直販、交流会	◎えびす神社祭り・末野の歴史 (講師:末野区長) ◎陶芸須恵野焼の体験 (講師:杉井敬三氏)	◎末野八幡神社祭礼・運動会等参加	◎熊川いっぶく時代村・えびす祭等参加	◎健康食品開発 ◎麺・味噌加工品の加工開発
若狭定住への勉強会	①若狭町の施策	◎若狭町の歴史と集落自治 (講師:町文化財保護委員等) ◎若狭町の施策・まちづくり (講師:若狭町長等)	◎若狭町の観光について (講師:町観光交流課等) ◎グリーンツーリズムについて (講師:町観光交流課等)	◎地方自治とまちづくり (講師:町三役・地元議員等)	◎若狭町の営農計画 (講師:県支援部・町産業課等)
	②日本の農政 都市と農村	◎都市の若者と農業・農村の展望 (講師:類設計室)	◎国・県の農業制度と事業 (講師:県支援部等)	◎県の農政と先進地事例および交流 (講師:県支援部等)	◎新規就農および定住施策 (講師:県農業会議・県支援部・町産業課等)
	③体験学習 ネット事業		◎ネット事業の構想 (講師:アグリ・県農業会議研修等)	◎まちづくり・活性化事業の展望 (講師:町政策推進課等)	◎体験学習と都市交流について

□研修生の受け入れ条件

項目	概要
採用人数	3名程度
奨励金 (選択制)	法人 ⇒ 1年目 5万円/月・2年目 7万円/月 青年就農給付金(準備型) ⇒ 150万円/年×2年間
住宅・食費	研修棟に個室、自己負担月1万円
研修期間	半年、1年、2年 短期から長期まで受け入れ
研修地	若狭町末野ほか
休日、休暇	月4～6日 夏季、冬季、年始
保険制度	国民健康保険・年金に加入、労災保険は法人負担
参考 : 就農支度金	町内就農の場合、法人より奨励金の6ヵ月分を給付
参考 : 新規支援	就農時には様々な補助事業を活用

■ 法人の規模

○農業総合公園内に、体験田、畑、ハウス約1ha
○水稻栽培用の田 約24ha
○転作(大麦、野菜) 約8ha
○その他(果樹、景観作物等) 約2ha



営農担当 下島 栄一

農村総合公園研修棟全景

私が指導します！  
ぜひ若狭町に来て下さい



体験田畑・ハウス

